

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くくるこどもサポート株式会社 放課後等デイサービスくくる3		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年1月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和7年12月25日		～ 令和8年1月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月21日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、教員、言語聴覚士など多様な職種、そして様々な年齢のスタッフが在籍していることで、それぞれの視点で観察や支援を行うことができる。	様々な意見が聞けるよう打合せの場を設けている。また、設定活動だけでなく個別訓練も行き、それぞれの職種が活かせるよう取り組んでいる。	設定活動の内容の詳細についても話し合いや意見交換を行い、目的やねらいの明確化や、より質の高い支援に繋がるよう取り組んでいく。
2	活動時間と余暇時間を設けており、余暇時間はなるべく自由に過ごすことができるように環境を作ることができている。	活動と余暇活動のメリハリが付けられるような声掛けや環境を作っている。	トラブルや揉め事が減るよう、ルールが決まっていないところはあらかじめしっかりとルールを設ける。
3	遊ぶことのできる公園や、自立活動で使用できる店が近場にある。	利用者の意見を聞いて、行きたい場所や活動内容を決めている。	利用者の混乱が減るよう、利用者の情報や支援内容についてもっと共有や統一していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学年や障害のレベルが様々で、利用者それぞれに合った支援内容の提供をすることが困難な時がある。	利用者やその保護者が、支援内容より楽しさや過ごしやすさを優先してしまっている現状があるように感じる。それに伴い、レベルアップのための事業所移動に前向きな姿が見られない。	日々の支援内容や利用者の姿をこまめに伝え、利用者がより成長できる環境はどこなのかを、保護者の方と一緒に考えることのできる関係を築いていく。
2	ルールが曖昧な部分があるため、トラブルや揉め事、コストのかかり過ぎが気になる時がある。	強みでもある自由であるゆえに、ルールが定まっていない所があり、それがトラブルや揉め事に繋がる時がある。	トラブルや揉め事が減るよう、ルールが決まっていないところはしっかりとルールを設ける。
3	療育室は広いが、部屋の数が少ないため、活動や学習などが同じ部屋で行っている。	利用者の不適切な発言や距離感が見られる。	スタッフの対応を統一して、正しい関わり方を伝えていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスくる3

公表日 令和8年1月29日

利用児童数 29

回収数 24

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	7	1		高学年になると部屋がせまい。	活動内容によって机を移動させるなど、活動スペースが十分確保でき安全に取り組めるようにしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	5		3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく 構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	4		3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	3	1			出勤後と療育後に掃除の時間を設け、清潔を保てるよう努力しています。また、床にはウレタンマットを敷き、怪我防止をしています。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	3	1		言語についてもう少し期待しています。	別室にてそれぞれのニーズやねらい、レベルに合わせた個別訓練を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	2				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	2				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	3		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	2		1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	3	4	4	児童クラブや児童館との活動も入れて欲しい。	他事業所と合同の活動を行い交流の場を設けています。また、土曜や祝日には児童館などにも遊びに出掛けています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	5	3	4		保護者の方とお話しする機会を設けています。また、講習会等の案内があれば情報共有をしています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	4				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	2				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2	5	7	保護者同士の交流が欲しい。同じ立場の親としての意見交換等の場がないため。	今年度は保護者参加型イベントの夏祭りを実施し、保護者同士の交流の機会を設けました。今後もそのような機会を検討していきたいと思っています。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	3	1	1		窓口を設けており、ご意見やご相談がある場合は対応していきたいと考えております。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2	1			定期的な面談時や、日々の送迎時に情報共有を行っています。また、毎日会議を行い職員間でも情報共有を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	1		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	2		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	2		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	2		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	2				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	3				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスくる3					公表日	令和8年1月29日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		活動内容によって机を移動させ、活動スペースを確保しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		怪我がないようウレタンマットを敷いています。	常に環境構成を検討しながら支援にあたっています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			個別で対応できる個室がないので、必要な場合は環境構成を検討する必要がある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		第三者による外部評価を行いたいと思っているが、具体的な動きには繋がっていません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		毎月会議を開き、活動内容の評価や立案を行っています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		製作やSST、自立訓練などを日替わりで取り入れています。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>					

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の日誌に支援内容や利用者の様子を記載すると共に、話し合う場を設けています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		職員会議で利用者の様子の報告を行ったり、毎日3回話す場を設け情報共有をしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時に話をするなど、必要に応じて学校とも情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		実施しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		これまで15歳～18歳までの方の支援経験がありません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			高学年も増えてきたので、もう少し機会を増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		今年度は保護者参加型の活動を企画し、保護者同士も関わることを設けました。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		研修を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		医師の意見書を求めたことはありません。今後は必要に応じて対応いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日の終礼で報告すると共に、毎月の職員会議でも共有を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスくくる3-2		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月1日		平成38年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	平成37年12月15日		平成38年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	平成38年1月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多機能型の事業所として、幼児期から学齢期までの発達の流れを見通すことができ、成長を切れ目なく計画的に支援できる体制が整っています。	・児発・放デイそれぞれの支援内容や記録を共有し、これまでの支援の積み重ねを踏まえた関わりができるよう心掛けています。	・発達段階や年齢に応じた支援のねらいを整理し、職員間で共通理解を深めながら、子ども一人ひとりに合った支援に繋がっていきます。
2	・子どもたちの「できた」「楽しい」という成功体験を大切にしながら、自己肯定感を育む支援に取り組んでいます。	・小さな成功体験を積み重ねられるよう、子どもたち一人一人に合った目標設定や声掛けを意識して支援しています。	・子どもたちの達成感や自己肯定感を育めるよう、支援内容や関わり方について職員間で共有・検討を重ねています。
3	・理学療法士が在籍しており、専門的な視点を活かした支援に加え、保育士をはじめとする様々な視点から、子ども一人一人の発達状況に応じた支援を行っています。	・体の使い方や動きの特性に着目し、日常の遊びの中で無理なく取り入れられる支援を行っています。 ・日々の支援の振り返りや職員間での情報共有を大切に、小さな変化にも気づけるよう意識して取り組んでいます。	・定期的なカンファレンスや振り返りを通して職員の専門性を高めるための学びを継続し、多職種連携を大切にしながら、より発達段階に応じた支援の充実を図っていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の入れ替わりが多いことから、子ども一人ひとりの発達段階や特性の理解が十分に深まるまでに時間を要することがあり、継続した関わりや信頼関係の構築に繋がりにくいこと。	・引き継ぎや情報共有の時間が十分に確保できていないことや、業務習得を進めながら支援に入る体制となっていること。	・子ども一人ひとりの支援内容や関わり方について共有できる仕組みを整えて、職員が安心して継続的に関われる体制づくりに取り組んでいます。
2	・児発・放デイの利用時間の重なることで、室内の使い分けや環境設定に工夫が必要な場面があること。	・限られたスペースの中で、複数の支援を同時に行う必要があるため。	・時間帯や活動内容に応じた環境設定を行い、子どもたちが安心し、落ち着いて過ごせる環境づくりに心がけていきます。
3	・保護者との情報共有や意見交換の機会が十分確保できておらず、連携をさらに深めていく必要があること。	・保護者との関わりが送迎時の限られた時間にとどまることが多く、丁寧な情報共有や意見交換が十分に行えていないように感じる。	・送迎時の限られた時間でも、日々の支援の様子を分かりやすく伝える工夫を行うとともに、定期面談を通して保護者との情報共有や意見交換をより充実させていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスくるく3-2

公表日 R8年1月29日

利用児童数 11名

回収数 9

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7			2	・部屋の中がはっきりわからないので。	・活動内容や人数に応じて環境を調整し、子どもたちが安心して過ごせるよう工夫しながら支援を行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8			1	・何人を見て頂いているのか知らないです。	・適切な人数を守っています。お子様の様子や利用人数に合わせて安全に過ごせるよう職員を配置しています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1		2	・部屋の中が分からない。	・机の配置など、利用人数によって落ち着いて過ごせる環境作り心がけています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8			1	・部屋の中、活動スペースを見たことがない。 ・あまり見る機会がないので見てみたい。	・活動内容や利用人数に合わせて、安全で過ごしやすい環境となるよう心掛けていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9				・保護者の面談や送迎時に先生と子どもの話が出来るので理解していただいている。	・定期的に戻りを行い、職員間でお子様の発達や特性の理解を深めて、職員皆が同じ支援ができるよう努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8			1	・自分の子に合った支援かは分からないが、結果的に良い影響だと思う。	・定期的に計画の見直しを行い、引き続き、計画に基づいた支援を行っていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9				・別の日に同じ内容のことをするにしてもルールを変えたりして工夫してくれている。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	2	3	・他校の子と一緒に活動したり、楽しそうです。	・今後、地域や他事業所等、外部との関わりが持てるよう検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9				・見学や契約時にきちんと説明して頂きました。	今後も変更がある際には分かりやすく丁寧な説明を心がけていきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9				・契約書を作成していただき説明も受けました。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	2	3		・今後も、お子様と保護者様に寄り添えるよう心掛け、必要に応じて検討していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9				・学校でのことを伝えたり、くるくくすることを聞いたりしています。	・帰りの送迎時に日々のお子様の様子を伝え、保護者様との情報共有を大切にしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9				・学校でのことを伝えたり、くるくくすることを聞いたりしています。	・随時、ご相談や訪問させていただきお話しする機会を作っていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	9					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	3	4		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9					
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	1			・ほとんどの先生はきちんと説明してくれていますが、たまに忙しいのか説明ない時もあります。	・帰りの送迎時に日々のお子様の様子を伝え、保護者様との情報共有を大切にしています。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9				・子ども自分が載っていると喜んでみえています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9				・大丈夫だと思います。	・個人情報の適切な管理と取扱いに注意させていただきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9				・月1回？避難訓練してくれています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9				・月1回？避難訓練してくれています。	・定期的に火災や地震を想定した避難訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9					・事業所内で委員会を設置しており、職員の研修を行うなどして安全に療育を行えるよう努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9					・お子様が笑顔で安心して通所し、楽しみの場所であり続けられるよう努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9					・お子様が笑顔で安心して通所し、楽しみの場所であり続けられるよう努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					・お子様と保護者様の思いに寄り添い、事業所の支援に満足して頂けるよう、努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援所くるく3・放課後等デイサービスくるく3-2		公表日		令和8年 1月 29日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動や児発と重なる時間帯によって場所を分けており、十分なスペースを確保しています。	・活動内容や重なる時間帯によって部屋を分けて行うことを話し合い、常に環境を整える必要があります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・基準人員の職員配置に加えて、様々な専門職員の配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・階段には滑り止めのマットをつけ、滑りにくくしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日掃除を行い、清潔な療育室を保っています。また、玩具の消毒も定期的に行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・療育室以外に、相談室もあるため、必要に応じて個別の場所を確保しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・活動前に打ち合わせを必ず行っています。お子様の様子や状況に合わせて、情報共有するよう動めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・今回の結果を職員間で共有し、改善していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員の面談を設け、職員の意見を取り入れるようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者による評価を行いたいと思っているが具体的な動きに繋がっていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・事業所内の研修や、外部の研修に参加する機会を設けています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ホームページに掲載しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・アセスメントと家庭訪問や事業所内相談を定期的実施し、個別支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員とモニタリングを行い、その日いなかった職員には記録にて全員に共有するようにしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・モニタリングや記録での周知を行っています。初回の利用児には、職員間で子どもの情報共有を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・お子様の特性や発達に合った支援計画の作成に動いています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・職員全体で打ち合わせを行い、活動内容を決めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・5領域を踏まえて様々な活動を設定しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別、または小集団の専門的支援や小集団の活動と計画を立てて取り組んでいます。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼や昼礼で、その日の活動内容や役割分担について確認し、職員全員が把握できるよう努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・その日あった出来事などの共有事項等を日誌に記載することや、終礼で伝えるなどして職員全員が把握できるよう努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・反省点があれば、反省点を踏まえて改善できるよう職員間で話し合い、活動内容等を検討しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・職員皆でカンファレンスを行い、より良い支援計画に努めています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・活動や遊びを自分で選べるよう、複数の選択肢を提示したり、見通しを持てる関わりを行ったりすることを心がけています。	
	関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・関係機関と連携しながら様々なニーズのお子様の受け入れができるよう体制を整えています。	
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校への送迎時などで情報共有を行っています。	
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			・弊社は児童発達支援所を併設しています。これまでの成長や発達段階、特性などの情報共有を行い、相互理解に努めています。
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	○		・経験がありません。
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・公園先や児童館など他の地域の子どもと交流する機会があります。	今後、他事業所との交流の機会を増やせるよう、検討していきます。
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			・子ども部会に参加しています。
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・日々の送迎時に、支援の様子をお伝えし、保護者様からもお話を伺い、職員間で共有できるよう努めています。	
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・引き続き、ご要望があれば療育の様子を見て頂き、保護者様と発達や支援について情報共有をしていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約の際、資料を見ながら丁寧に説明するよう努めています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・家庭訪問や事業所内相談を通し、保護者様の意見やお子様のニーズを聞いています。それを踏まえて作成するよう努めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画を見ながら、一つ一つ丁寧に説明を行うようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者様からご相談があれば、事業所内相談を行い、支援しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	○		・今後の開催について検討をしていきます。
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・契約時に苦情対応窓口の説明を行い、苦情があれば対応していきます。		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月、おたよりを作成し、活動内容・活動風景を発信しています。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			・個人情報の管理や取り扱いについては、職員間で十分注意するよう伝えていきます。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・絵カードやイラストを使い、お子様に合わせた対応を心がけています。		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○				
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルの作成を行い、事業所で定期的に訓練をしています。	
		47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・非常災害を想定した机上、実地訓練を行っています。定期的に避難訓練を行っています。	
		48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時にお子様の状況を確認し、職員全員に周知するようにしています。	
		49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			・現在食物アレルギーをもつお子様は在籍していませんが、今後必要に応じて検討していきます。
		50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・事業所内の安全点検や、送迎時や戸外の危険箇所等を職員間で話し合い、安全に気をつけて支援が行えるよう努めています。	
		51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・委員会を行い、事業所全体で共有、また、毎月職員会議で各事業所ごと確認、共有しています。		
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待・身体拘束に関する研修を、年に一度、職員全員が参加する機会を作っています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○					